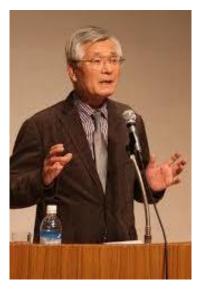
原発をなくす全国連絡会連続学習会"第10弾"

「原発事故から4年9ヶ月 福島はいま」

~安倍政権の福島県民切り捨て政策を斬る~



福島第一原発事故の発生から4年8ヶ月が経過しますが、福島では、いまだ県内外に10万人余が避難生活を強いられ、放射能汚染により住み慣れた家や故郷を奪われたままです。自宅に帰れる見通しは立っていません。劣悪な仮設住宅等での避難生活が長引く中で、体や心の健康を害し、震災関連死が、地震・津波の直接被害で亡くなった方を上回っており、深刻さが増しています。にもかかわらず、政府は帰還困難区域以外は2017年3月までに避難を解除し、住民への補償はその1年後に打ち切ろうとしています。まさに棄民政策そのものです。

そこで、福島の地で住民のいのち・人権・くらしを守るために日夜 奮闘されている、原発問題住民運動全国連絡センターの筆頭代表 委員の伊東達也氏をお招きし、福島の深刻な現状をリアルに報告 いただくと同時に、政府の福島県民切り捨て政策の問題点や今後 の課題についてお話いただきます。ぜひ多くの方に福島の現状を 共有していただけるよう参加を呼びかけます。

日時:2015年12月1日(火)18:30~20:30

会場:全労連会館2Fホール(文京区湯島2-4-4)

☆アクセス:JR中央線「御茶ノ水駅」下車 徒歩7分

参加費:無料

講師:伊東逹也氏

(原発問題住民運動全国連絡センター 筆頭代表委員)

主催: 原発をなくす全国連絡会 連絡先: 全日本民主医療機関連合会

<mark>T</mark>EL:03-5842-6451 担当:稲原、木下興

